

Symantec™ ApplicationHA リ リースノート

Linux

6.0

Symantec™ ApplicationHA リリースノート

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

製品バージョン: 6.0

マニュアルバージョン: 6.0.0

法的通知と登録商標

Copyright © 2010 copyright; Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、Veritas、Veritas Storage Foundation、CommandCentral、NetBackup、Enterprise Vault、LiveUpdate は、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書に記載の製品は、ライセンスに基づいて配布され、使用、コピー、配布、逆コンパイル、リバースエンジニアリングはそのライセンスによって制限されます。本書のいかなる部分も、Symantec Corporation とそのライセンサーの書面による事前の許可なく、いかなる形式、方法であっても複製することはできません。

本書は「現状有姿のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性、不侵害の黙示的な保証を含む、すべての明示的または黙示的な条件、表明、保証は、この免責が法的に無効であるとみなされない限り、免責されるものとします。Symantec Corporation は、本書の供給、性能、使用に関する付随的または間接的損害に対して責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアと関連書類は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアと関連書類の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

弊社製品に関して、当資料で明示的に禁止、あるいは否定されていない利用形態およびシステム構成などについて、これを包括的かつ暗黙的に保証するものではありません。また、弊社製品が稼動するシステムの整合性や処理性能に関しても、これを暗黙的に保証するものではありません。

これらの保証がない状態で、弊社製品の導入、稼動、展開した結果として直接的、あるいは間接的に発生した損害等についてこれが補償されることはありません。製品の導入、稼動、展開にあたっては、お客様の利用目的に合致することを事前に十分に検証および確認いただく前提で、計画および準備をお願いします。

Symantec ApplicationHA リリースノート

この文書では以下の項目について説明しています。

- [概要](#)
- [Symantec ApplicationHA とは](#)
- [新機能](#)
- [ソフトウェアの制限事項](#)
- [既知の問題](#)
- [6.0 でのソフトウェアの修正と機能拡張](#)

概要

このリリースノートには **Symantec ApplicationHA 6.0** に関する重要な情報が記載されています。**ApplicationHA** をインストールまたはアップグレードする前に、このリリースノートをすべてお読みください。

このリリースノートのバージョンは **Document Version: 6.0.0.0** です。

はじめに、このリリースノートの最新版を参照していることを確認してください。最新版は次の場所にあります。

<https://sort.symantec.com>

リリースノートに記載された情報は、**ApplicationHA** の製品マニュアルに記載の情報に優先します。

このリリースで利用可能な最新のパッチについては、

<https://sort.symantec.com/patch/matrix> にアクセスしてください。

Symantec ApplicationHA とは

主な利点は次のとおりです。

- 仮想マシン内で実行するアプリケーションを起動、停止、監視する機能を含むアプリケーションの完全な可視性と制御。
- ApplicationHA を使って、保守またはトラブルシューティングのためにアプリケーションを意図的に監視から外す特殊なアプリケーションメンテナンスモード。

主要な特徴

次に ApplicationHA の主要な特徴を示します。

- インストールと設定の簡単なワークフロー
- GUI 上で設定されたアプリケーションのコンポーネントの依存関係を表示する機能
- アプリケーション障害が発生した場合の仮想マシンの正常な再ブートを設定する機能
- Symantec Agent Pack リリースを通じて配布される継続的更新と追加のアプリケーションのサポート

新機能

Symantec ApplicationHA のこのリリースでの機能拡張は次のとおりです。

VMware バージョンの追加サポート

Symantec ApplicationHA は次の VMware バージョンの追加サポートを提供します。

- vSphere Client 5.0
- vCenter Server 5.0
- VMware ESXi Server 5.0

[ApplicationHA] タブから仮想マシンの ApplicationHA ライセンスを管理する機能

個々の仮想マシンで ApplicationHA ライセンスを管理できるようになりました。

vSphere Client を使って、VMware vCenter Server に接続し、ライセンスの更新を行う仮想マシンを選択します。[ApplicationHA] タブにはライセンスを更新するためのオプションが用意されています。

VMware の耐障害性のサポート

VMware には、仮想マシンの中断または停止、スナップショットの作成、スナップショットへの復帰、仮想マシンの代替ホストへの移行、仮想マシンのテンプレートの作成などの仮想マシン管理タスクを実行するための多くの機能が用意されています。Symantec ApplicationHA は、仮想マシンでアプリケーションをアクティブに監視しながらこれらの機能をサポートします。これらの操作は ApplicationHA の機能に影響しません。

ApplicationHA は、継続的なアプリケーションの可用性をもたらし、サーバーエラーの場合にダウンタイムおよびデータ損失を防止する VMware の耐障害性の追加サポートを提供するようになりました。

Mozilla Firefox のサポート

ApplicationHA は Mozilla Firefox ブラウザをサポートするようになりました。VMware vSphere Client を使って、Mozilla Firefox から [ApplicationHA] タブおよび ApplicationHA ダッシュボードを表示できるようになりました。

サポートする Firefox のバージョンについては、『Symantec™ ApplicationHA インストール/アップグレードガイド』を参照してください。

ソフトウェアの制限事項

製品のこのリリースには次の制限事項が適用されます。

バージョン 5.1 または 5.1 SP1 の ApplicationHA ゲストコンポーネントを実行している仮想マシンを、ダッシュボードが検出しない

Linux で ApplicationHA 5.1 を実行しているか、Windows で ApplicationHA 5.1 SP1 を実行している仮想マシンでのアプリケーション監視の管理に ApplicationHA ダッシュボードを使えません。なぜなら、ダッシュボード機能は ApplicationHA 5.1 SP2 で導入され、それ以前のリリースの ApplicationHA ゲストコンポーネントではサポートされていないからです。ただし、[ApplicationHA] タブからこのような仮想マシンでのアプリケーション監視を管理し続けることはできます。

回避策:

5.1 または 5.1 SP1 から ApplicationHA 5.1 SP2 以降に ApplicationHA ゲストコンポーネントをアップグレードしてください。

設定ウィザードはハードウェアの監視をサポートしない

ApplicationHA ウィザードを使ってストレージやネットワークなどのハードウェアコンポーネントを設定できません。

回避策

- これらのコンポーネントは監視する必要がないように設定できます。たとえば、ストレージでは、`/etc/fstab` ファイルに適切なエントリを追加できます。
- または、Veritas Cluster Server (VCS) のコマンドラインインターフェースまたは Veritas Operations Manager (VOM) を使ってハードウェアのコンポーネントを設定できます。

ApplicationHA は仮想マシンごとに 1 つのアプリケーションのみをサポートする

Symantec ApplicationHA 設定ウィザードを使って監視できるのは、仮想マシンあたり 1 つのアプリケーションだけです。

回避策

基盤の VCS と VOM の概念を熟知している場合は、監視用にさらに多くのアプリケーションまたはアプリケーションコンポーネントを追加できます。

アプリケーション監視の設定を編集できない

いったんアプリケーションを設定すると、ApplicationHA は設定の編集または追加をサポートしません。

回避策

既存の設定を削除し、再度設定を行ってください。

同時に複数のインストールを行うと遅いことがある

ApplicationHA のゲストコンポーネントを大量のシステムにインストールする場合、処理に長時間をかかることがあります。

回避策

ApplicationHA インストールプログラムを使って、少数の複数システムをまとめて指定するか、または応答ファイルを使用します。

ApplicationHA Dashboard は仮想マシンごとに最大 30 の (アプリケーション) コンポーネントグループをサポートする

Symantec ApplicationHA は設定されたアプリケーションを監視するためのダッシュボードインターフェースを導入します。このリリースでは、ダッシュボードが仮想マシンごとにサポートする (アプリケーション) コンポーネントグループの数は 30 のみです。

既知の問題

製品のこのリリースには、次の既知の問題が存在します。

値が 2 以上に設定されているときに、App.RestartAttempts 設定が有効にならない

App.RestartAttempts 設定オプションは、障害が発生したアプリケーションまたは依存コンポーネントの再起動を **Symantec ApplicationHA** が試みる回数を定義します。値は 1 から 6 の範囲で設定できます。

特定のアプリケーション設定では、値が 2 以上に設定されているとこの設定を有効にすることができません。アプリケーションの設定が成功した後、アプリケーションまたは依存コンポーネントに障害があると、**ApplicationHA** はそれを一度再起動しようと試みます。アプリケーションが起動できなければ、**ApplicationHA** はアプリケーション状態を障害発生と報告します。(2508392)

この問題は次のアプリケーションまたはコンポーネントにのみ当てはまります。

Windows

- カスタムアプリケーション(サービス、プロセス、ストレージマウントなど)

Linux

- カスタムアプリケーション(サービス、プロセス、ストレージマウントなど)
- SAP Netweaver
- SAP Web Application Server
- DB2
- WebLogic Server
- WebSphere Application Server
- WebSphere MQ

回避策

現在、この問題を解決する回避策はありません。

これらのアプリケーションについては、**App.RestartAttempts** 値を 1 に設定することをお勧めします。

これにより、**ApplicationHA** が障害の発生したコンポーネントを再起動する試行回数が 1 回になります。コンポーネントがそれでも起動しなければ、**ApplicationHA** はこのコンポーネントを障害発生と宣言し、構成設定に従って(システムの正常な再ブートを試みるなどの)追加処理を行います。

一部の VCS コマンドが機能しない場合がある

ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールした後、VCS コマンドを使って管理タスクを実行しても一部のコマンドが機能していない場合があります。コマンドプロンプトには、使われているコマンドが有効な内部または外部コマンド、操作可能なプログラム、あるいはバッチファイルとして認識されていないことを示すメッセージが表示されます。(2493102)

この問題は通常、Windows Server 2003 オペレーティングシステムを実行している仮想マシンで発生します。コンピュータの %path% 環境変数が現在の Windows セッションで更新されていないため、コマンドプロンプトは VCS コマンドを識別できません。

回避策:

コマンドプロンプトを終了し、現在の Windows セッションからログオフします。新しいセッションにログインし、コマンドを再び実行します。新しいセッションでは更新された %path% 環境変数が使われます。

ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストールディレクトリに特殊文字 (\$) が含まれている場合に SSO 設定が失敗する

ApplicationHA ゲストコンポーネントのインストール中に指定したカスタムロケーションパスに特殊文字「\$」が含まれている場合、SSO 設定が失敗します。(2556996)

他のクラスタ製品との互換性

Symantec ApplicationHA は Veritas Cluster Server (VCS) 上で実行されます。ApplicationHA によって使われる VCS のバージョンは VCS のカスタマイズされたバージョンです。仮想マシン内の占有域を軽量化するために多くのコンポーネントが削除されています。同じ仮想マシン内で ApplicationHA と VCS の両方を同時に実行することはできません。ApplicationHA から VCS にアップグレードする方法はありません。

また、ApplicationHA はシマンテック社が提供する他のクラスタソリューションと共存しません。これらのソリューションには、Veritas Storage Foundation High Availability、Clustered File System、Clustered File System High Availability、Clustered Volume Manager などがあります。

Veritas Storage Foundation のインストール時のエラー

仮想マシンで ApplicationHA をインストールし、次に Veritas Storage Foundation (SF) をインストールしようとする場合、SF のインストール時にエラーが発生することがあります。(2141382)

回避策

ApplicationHA と SF を同じ仮想マシンにインストールするには、まず SF をインストールし、次に ApplicationHA をインストールします。

ApplicationHA タブの問題

Veritas Storage Foundation (SF) と ApplicationHA の両方を同じ仮想マシンにインストールし、その後 SF を削除する場合、vSphere Client の [ApplicationHA] タブが動作を停止します。(2136077)

回避策

仮想マシンで ApplicationHA をインストールし、次に Veritas Storage Foundation (SF) をインストールしようとする場合、SF のインストール時にエラーが発生することがあります。

SF を削除するときに、VRTSsfmh rpm がマシンから自動的に削除されます。vSphere Client には、仮想マシンと通信するために VRTSsfmh rpm が必要です。

VRTSsfmh を復元するには、次の手順を実行します。

- 1 ApplicationHA インストールメディアから VRTSspt および VRTSsfmh rpm をインストールします。

- 2 xprtld サービスを停止します。

```
# /etc/init.d/xprtld stop
```

- 3 /etc/opt/VRTSsfmh/xprtld.conf ファイルに次の行を追加します(存在しない場合)。

```
namespace vcs=/opt/VRTSvcs/portal
```

- 4 xprtld サービスを起動します。

```
# /etc/init.d/xprtld start
```

アプリケーション監視設定がフリーズする

この問題は、ホスト名がハイフンで始まるシステムでアプリケーション監視を設定する場合に発生します。(2038685)

アプリケーション監視設定がフリーズし、vSphere Client の ApplicationHA ビューにアプリケーションの状態が表示されないことがあります。設定されたアプリケーションが失敗すると、ApplicationHA はアクションを実行しません。

ホスト名がハイフンで始まるシステムの場合、ApplicationHA をインストールし、これらのシステムでアプリケーション監視を設定する前に、名前を変更することをお勧めします。

VMware Snapshots の操作中および仮想マシンの移行中の問題

Symantec ApplicationHA がアプリケーションを監視しているシステムで仮想マシンの管理を実行中に、以下の問題が起きることがあります。

- 仮想マシンのスナップショットの操作中

仮想マシンのスナップショットを作成している間に、**ApplicationHA** ビューが一時的にフリーズし、監視するアプリケーションの現在の状態が表示されない場合があります。またスナップショットから復帰した後、仮想マシンが操作の完了後に再ブートすることがあります。

vSphere Client の [Tasks & Events] タブの [Events] ビューに次の警告メッセージが表示されます。

Application heartbeat failed for <virtualmachinedisplayname> on <ESX host> in cluster <clustername> in <datacentername>

Application heartbeat status changed to appStatusRed for <virtualmachinedisplayname> on <ESX host> in cluster <clustername> in <datacentername>

Application heartbeat status changed to appStatusGreen for <virtualmachinedisplayname> on <ESX host> in cluster <clustername> in <datacentername>

■ 仮想マシンを代替 ESX ホストへと移行中

仮想マシンの移行を開始すると、**ApplicationHA** ビューが一時的にフリーズし、監視するアプリケーションの現在の状態が表示されない場合があります。

vSphere Client の [Tasks & Events] タブの [Events] ビューに次の警告メッセージのインスタンスが複数表示されます。

Application heartbeat status changed to appStatusGray for <virtualmachinedisplayname> on <ESX host> in cluster <clustername> in <datacentername>

Application heartbeat status changed to appStatusGreen for <virtualmachinedisplayname> on <ESX host> in cluster <clustername> in <datacentername>

回避策

これは VMware HA に関する既知の問題です。この問題の Hotfix について詳しくは次の VMware ナレッジベースの記事を調べてください。

<http://kb.vmware.com/kb/1027413>

スナップショットを操作する、または仮想マシンを移行する前に、仮想マシンでアプリケーションハートビートを無効にする (**ApplicationHA** ビューの [Disable Application Heartbeat] ボタンを無効化) ことを推奨します。仮想マシンの管理アクティビティが完了した後、アプリケーションハートビートを再び有効にします (**ApplicationHA** ビューの [Enable Application Heartbeat] ボタンを有効化)。

Symantec ApplicationHA コマンドがロケール設定どおりに時間を表示しない

この問題は出力で日付とタイムスタンプを表示するすべての ApplicationHA コマンドで発生します。日付とタイムスタンプがシステムのロケール設定どおりに表示されません。英語でのみ表示されます。(2142740)

[ApplicationHA]タブはフリーズすることがある

vSphere Client コンソールの [ApplicationHA] タブは ApplicationHA が仮想マシンとの接続を確立できない場合にフリーズすることがあります。ApplicationHA ビューのアプリケーション状態がハングアップ状態のため更新されません。(2125902)

回避策

これは仮想マシンが ApplicationHA http 要求に応答できない場合に起きることがあります。仮想マシンは、中断状態に移行したか、代替 ESX ホストへの移行中です。

次の処理を実行します。

- 仮想マシンの電源が入っており、ネットワーク経由でアクセス可能であることを確認します。
- [ApplicationHA] タブを閉じ、再び開きます。
vSphere Client で、別の仮想マシンをクリックし、元の仮想マシンを再度クリックして、[ApplicationHA] タブを選択するか、または vSphere Client を終了し、再び起動します。

インストールディレクトリに複数のパーセント記号 (%) が含まれる場合、ApplicationHA Console インストールでエラーが発生し、プラグイン登録が失敗する

この問題は Symantec ApplicationHA Console Installer を使って ApplicationHA Console をインストールしているときに発生します。[System Validation] パネルで、インストールディレクトリを連続する複数のパーセント記号 (%) を含むパスへとカスタマイズした場合、ウィザードは検証チェックを正常に完了し、先に進めるようになります。ただし、[Post-install Summary] パネルの [Next] をクリックすると、「Failed to create private domain. The system cannot find the path specified」エラーが表示されます。エラーメッセージの [Ok] をクリックし、インストールを進めることができます。ただし、インストールワークフローが完了した後、ウィザードは vCenter Server で ApplicationHA プラグインを登録できません。

Console Server で利用可能な PluginMgmt.bat ユーティリティを使ってプラグイン登録を確認すると、プラグインの状態にはプラグインがすでに登録されていると表示されます。ただし、vCenter Server で利用可能な Plug-in Manager でプラグインの状態を確認すると、プラグインの状態は「Download & Install」と表示されます。

回避策

ApplicationHA Console インストールウィザードを再び起動し、複数のパーセント記号 (%) を含まない有効なパスを指定します。

Veritas Operations Manager がアンインストールされた場合 ApplicationHA が動作できなくなる

Veritas Operations Manager (VOM) の管理対象ホストコンポーネントは、ApplicationHA のインストール中に Console Server とゲスト仮想マシンにインストールされます。(2361128, 2323516)

VOM をアンインストールすると VRTSsfmh パッケージが削除され、ApplicationHA 機能が解除されます。sfmh パッケージには「Veritas Storage Foundation Messaging Service (xpirtld)」が含まれています。これは ApplicationHA と VOM の両方によって使われます。

メモ: この問題は Veritas Operations Manager Central Server をアンインストールするときにも発生します。

回避策

次の手順を実行します。

- 1 ApplicationHA のソフトウェアディスクをシステムドライブに挿入し、rpms ディレクトリにナビゲートします。

```
# cd cdrom_root/<platform-specific folder>/rpms
```

次の表は、プラットフォーム固有の各フォルダのリストです。

オペレーティングシステム	フォルダ
Oracle Enterprise Linux	rhel5_x86_64
Red Hat Enterprise Linux	rhel5_x86_64
SuSE Linux Enterprise Server	sles11_x86_64

- 2 次のコマンドを実行します。

```
# rpm -ivh VRTSsfmh-3.1.830.0_Linux.rpm
```

- 3 xpirtld サービスを停止します。

```
# /etc/init.d/xpirtld stop
```

- 4 ファイル /etc/opt/VRTSsfmh/xprtld.conf に以下のテキストが含まれることを確認します。

```
namespaces vcs=/opt/VRTSvc/portal
```

- 5 xprtld サービスを起動します。

```
# /etc/init.d/xprtld start
```

- 6 vSphere Client の [ApplicationHA] タブから、シングルサインオンを設定します。SSO の設定について詳しくは、『Symantec™ ApplicationHA ユーザーズガイド』を参照してください。

vSphere Client 統合メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールすると「Failed to log-on...」エラーが表示されて失敗する 場合がある

ApplicationHA ゲストコンポーネントを vCenter 統合メニューを使ってインストールしているとき、インストールワークフローは正常に完了します。ただし、タスクがインストールのためにキューに格納された後で一部の仮想マシンで「Failed to log-on」エラーが表示されてインストールが失敗する場合があります。(2361891)

また、vSphere Client を使ってこれらの仮想マシンに接続しようとする時「MKS error...」が表示される場合があります。

回避策

- 次の場所にある VMware KB を参照します。

```
http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?
language=en_US&cmd=displayKC&externalId=749640
```

- インストールが失敗した仮想マシンを再起動します。
- 問題が解消されない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせます。

vMotion が原因で健全性ビューとダッシュボード更新で遅延が発生する

VMware vMotion が有効になっている仮想マシンでアプリケーション監視を設定した場合、アプリケーションで障害が発生し、仮想マシンが再ブートすると vMotion 処理がトリガされます。(2363462)

vMotion により、再ブート後、仮想マシンが起動し、アプリケーションは新しい ESX ホストのフェールオーバー仮想マシンでオンラインになります。アプリケーションがオンラインであっても、ApplicationHA の健全性ビューとダッシュボードはわずかに遅れてアプリケーション状態を反映します。

vMotion の後、アプリケーションで障害が発生している場合でもアプリケーションハートビートの状態に「appStatusGreen」が表示される

アプリケーションの障害が発生した後、VM の再ブートの代わりに VMware vMotion をトリガすると、アプリケーションで障害が発生している場合でも、仮想マシンの [Tasks and Events] にアプリケーションの状態が「appStatusGreen」として表示されます。(2363487)

この問題は VMware vSphere Client 4.0 と 4.1 を使っている場合に確認されます。

テストリカバリ中、両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードに更新が表示される

テストリカバリの VMware クラスタネットワークが、フェールオーバーした仮想マシンが保護サイトの ApplicationHA Console と通信できる (MAC アドレスが保護サイトのアドレスと同じであるため) ように設定されている場合、アプリケーション監視のために実行された管理タスクによる更新は両方のサイトの ApplicationHA ダッシュボードで反映されます。(2363496)

ゲストインストールがエラー「Failed to launch the guest installer process」により失敗する

この問題は、vSphere Client メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールするときに確認されます。

インストールワークフローが完了した後、仮想マシンはインストールのためにキューに格納されます。ただし、vSphere Client タスクで「Failed to launch the guest installer process」エラーが表示されてインストール処理を開始できない場合があります。

回避策

インストールが失敗した仮想マシンで、インストールウィザードを再び実行します。

ApplicationHA ビューを複数回更新するとネットワーク接続エラーが表示される

この問題は、通常、IE7 ブラウザの場合に確認されます。

ApplicationHA ビューは 60 秒ごとにアプリケーション状態を更新します。ただし、手動で ApplicationHA ビューを複数回更新する場合にネットワークエラーが発生すると、IE にネットワーク接続エラーが表示されます。(2379946, 2379707)

エラーメッセージの [Ok] をクリックし、vSphere Client で別の仮想マシンをクリックすると、[ApplicationHA] タブには不明なアプリケーションというアプリケーション状態が表示されます。

この問題は、ApplicationHA ビューを更新し、同時に仮想マシンをリセットする場合にも発生します。

回避策

詳しくは、Microsoft 社の次のサポート技術情報の記事を参照してください。

http://support.microsoft.com/kb/927917#more_information

Tab キーを使ったフィールド選択が[vCenter Server User Details]パネルで動作しない場合がある

この問題は vSphere Client メニューを使って ApplicationHA ゲストコンポーネントをインストールするときに[vCenter Server User Details]パネルで発生します。この問題は、通常、Adobe FlashPlayer バージョン 10.1 がシステムにインストールされている場合に確認されます。(2362878)

回避策

入力を指定するには、各フィールドをクリックする必要があります。

ApplicationHA を使って IIS サイトを監視するときに WMI でメモリリークが発生する

Windows Server 2008 オペレーティングシステムで、Symantec ApplicationHA を使って IIS でホストされるサイトを監視するときに Windows Management Instrumentation (WMI) でメモリリークが発生します。この問題は IIS 7.0 WMI プロバイダが IIS サーバーにインストールされている場合に発生します。(2077342)

回避策:これは既知の Microsoft 社の問題です。この問題を解決するには、以下を実行します。

- IIS 6.0 WMI プロバイダのみが IIS サーバーにインストールされていることを確認します。
- [Web Server (IIS)] 役割の下で、[IIS 6 WMI Compatibility] 役割サービスがインストールされていて、[IIS Management Scripts and Tools] がインストールされていないことを確認します。

オンライン動作が無限ループに入る

アプリケーションが失敗した後、ApplicationHA はアプリケーションのオンライン化を試みます。ApplicationHA は、一定期間そのような試行を試みた後、アプリケーションのオンライン化を試すことを止めます。期間は OnlineRetryInterval 属性で定義されています。

ApplicationHA 5.1 では、`OnlineRetryInterval` のデフォルト値は 0 です。その結果、ApplicationHA は失敗したアプリケーションのオンライン化を無限に試みます。これはリリース 5.1 での既知の問題であり、以降のエージェントパックのリリースで解決されました。

ただし、ApplicationHA を 5.1 から 6.0 にアップグレードするときは、問題が持続します。

回避策

次のコマンドを使って `OnlineRetryInterval` 属性を修正してください。

1. `# haconf -makerw`
2. `# hagrpl -modify applicationname OnlineRetryInterval 120`
`applicationname` は、監視用に設定したアプリケーションの名前です。
3. `# haconf -dump -makero`

ApplicationHA インストーラの設定オプションが正しく機能しない

Symantec ApplicationHA インストーラを実行すると、ApplicationHA の設定オプション [Configure an Installed Product] が表示されます。

このオプションを指定した場合、インストーラは ApplicationHA の設定に失敗します。その代わりに、インストーラはある特定の ApplicationHA プロセスを停止することを開始します。(2621468)

回避策

このインストーラオプションを使ってアプリケーションを設定しないでください。代わりに、アプリケーションを監視するために Symantec ApplicationHA を設定するには、次の方法の 1 つを使います。

- すでに ApplicationHA をインストールしてある場合は、次の URL にナビゲートし、[Configure Application Monitoring] リンクを使って、Symantec ApplicationHA Application Monitoring Configuration Wizard を起動します。
-

6.0 でのソフトウェアの修正と機能拡張

ここでは、Symantec ApplicationHA 6.0 リリースで修正された Symantec ApplicationHA for Windows インシデントに関する情報を提供します。

インシデント番号 説明

2385156 仮想マシンとConsoleホスト間のシングルサインオン(SSO)設定では、仮想マシンのシングルサインオンを設定するための仮想マシン管理者アカウントが指定されます。管理者アカウントクレデンシャルに次の特殊文字が含まれる場合、この設定は失敗します。

- & (アンパサンド)
- * (アスタリスク)
- % (パーセント)
- + (プラス)

vSphere Client の[ApplicationHA]タブから仮想マシンにログオンしようとすると、構文エラーダイアログが表示されます。

